

2. 春季学術講演会における分科会の企画について (古閑)

2021 年 9 月 10 日

応用物理学会 (青山学院大学 相模原キャンパス 2022 年 3 月 22 日から 26 日)

古閑

【チュートリアル (1 日目 3 月 22 日を予定)】 (

1. 申請の流れ: 11 月頃大分類代表に本部から提案についてのメールあり。
2. 企画: 栗原様

【シンポジウム (2 日目 3 月 23 日午後、4 時間程度を予定)】

3. 申請の流れ: 10 月 15 日シンポジウム提案書〆切 (担当者: 中村先生)。
 - 10 月下旬審議 (本部での調整)、
 - 11 月 8 日シンポジウム申請書〆切、
 - 11 月 12 日に採択決定 (本部)、
 - 12 月 20 日まで web で招待講演者情報登録。
 - 1 月 11 日登壇申し込み〆切 (講演者)
 - 1 月 17 日プログラム編集委員会@オンライン
4. シンポジウム企画案 (別紙) 企画担当: 中村先生

【分科内招待講演】

1. 経験豊富な大学教員, 企業や国研の研究者等から, 主として若手研究者に向けて示唆に富んだ話をしていただく。
2. 最近の試みで、各中分類プログラム編集委員の推薦により、他分野からの研究者を各中分類に招待講演している。この試みを維持したい。
3. (従来の招待講演者としての) 候補者
 - ・ 伝宝様 (TEL: 製膜からエッチング、2 次元プロセスまで幅広い知見を基に現在プラズマプロセスの直面している課題などをおはなしいただけないか。50 代中後半?)
 - ・ その他の先生について候補をお知らせください

(別紙) シンポジウム企画案

=====
応用物理学会 2022 春 プラズマエレクトロニクス分野のシンポジウム案
=====

【1】題目

プラズマ・液体相互作用～基礎と応用の最新動向

【2】趣旨

最近、液体を含むプラズマに関する研究が盛んに行われ、材料分野にとどまらず、医療分野や農業分野等への応用が進展している。本シンポジウムでは、「プラズマ・液体相互作用」をキーワードとして、当該分野の基礎的な理解と、それを支えとするような応用の発展に関する最新動向を、第一線で活躍されている各先生方にご講演いただき、当該分野のさらなる発展に資する機会としたい。

【3】講演候補リスト(案、順不同)

- ・呉先生、白藤先生(大阪市大):水表面における大気圧プラズマ
- ・鈴木先生、豊田先生(名大):水シールド環境下での大気圧プラズマ
- ・朽久保先生(東京都立大):水表面における電子挙動
- ・佐々木先生(北大):イオン性液体表面における電子挙動
- ・伊藤先生、寺嶋先生(東大):プラズマアシストインクジェット関係(材料分野応用)
- ・高島先生、金子先生(東北大):プラズマ液体スプレー関係(農業分野応用)
- ・石川先生、堀先生(名大):プラズマ活性媒質関係(医療分野応用)

【4】参考:直近5年間のシンポジウム

- 2021 秋:未来デバイス製造のためのアトミックレイヤープロセス;表面反応ダイナミクスの理解と制御
- 2022 春:プラズマエレクトロニクス分科会30周年記念シンポジウム:ニューノーマル時代の躍進に資するプラズマエレクトロニクス
- 2020 秋:プラズマ誘起生体反応の機構解明研究のフロンティア
- 2020 春:プラズマ誘起生体反応の機序解明最前線～何が何処まで解ってきたか～
- 2019 秋:プラズマ制御「前駆体」が拓く生命科学と材料科学
- 2019 春:カーボン系材料プラズマプロセスの現状と課題
- 2018 秋:プラズマ・インフォマティクス ～ ビッグデータ解析の活用によるプラズマ科学の発展
- 2018 春:二次元シート合成とプラズマプロセス～超薄膜から原子層まで～
- 2017 秋:先進農業に向けたプラズマ応用最前線 ～新たな植物生育環境の開発・制御～
- 2017 春:エネルギー材料開発に資するプラズマ技術最前線
- 2016 秋:プラズマプロセス診断の最前線～大気圧、気液混合プラズマの理解と制御にむけて～
- 2016 春:宇宙科学・工学とプラズマプロセッシング

(文責:中部大 中村)